

G3 のツイッター その 17

烈剛河内 竹井 保満

今回のツイッターは一興に値しない昔話で、私の戦後 70 年の談話です。

1928 年 8 月 10 日生まれですので、戦後は丁度 17 歳から始まりました。満州帝国（現中国北部）の通信会社に勤務していましたが、1945 年 8 月 9 日、晴天の霹靂、ソ連軍が日ソ中立条約を破り侵攻してきました。当時の満州の精鋭部隊は南方に転戦し、アラフォーの兵隊ばかりでしたので、善戦はしましたが、数日で敗れてしまいました。

8 月 19 日ソ連軍と停戦交渉が成立しましたが、日本の S 参謀とソ連のツ代表との秘密交渉で兵士の労働で賠償するとか……。18 歳から 45 歳までの男子 70 万人がソ連に連行され、極寒の中、強制労働をさせられ、10 万人が彼の地で亡くなりました。これは、誇張ではなく、シベリヤ抑留の研究家、長瀬了治氏の調査で明らかです。

私は 17 歳の民間人でしたが、その強制労働を強いられました。侵攻してきたソ連軍は、ドイツと戦ってきた荒くれた兵隊どもで、極悪非道な所業は紙面が足りませんので、私が 90 歳を超えて語り部になった時、満州・シベリヤの話を致します。

戦争は人間と人間の殺し合いで、多くの人を殺したもののほど英雄です。こんな馬鹿げたことが有史以来、休むことなく続けられ、今日に至っています。勝った方は、なんでも捏造でき、茶番劇の東京裁判の如きものを行い、未だに自国を正当化しています。

太平洋戦争で日本が降伏した主な原因は広島・長崎の原爆投下によりますが、当時、どの国の科学者も原爆の研究をしていました。いち早く兵器として使用したアメリカが、善良な婦女子や民間人を何十万も一瞬に殺傷しました。日本でも陸海軍が其々研究を行っていましたが、ウランの濃縮段階まで出来なかったそうです。歴史に「もし」は有りませんが、もし、日本が先に原爆を作っていたら、ロンドンやワシントンに使用したでしょうか。

私は、中学生が喜んで読む科学雑誌ニュートンの愛読者です。138 億年前に始まったビッグバーン以降、何千何万の奇跡が重なり、地球に生物が誕生し人間が生まれました。宇宙飛行士の皆さんは、宇宙から見た美しい地球を褒め称えます。世界の人口を 70 億人として、全員が現在の消費大国のように食糧エネルギー鉱産物を消費すると、地球がもう二つ必要になるそうです。人間が知恵を持ちだして、たったの数万年ですが、人智は無限です。人の物をもぎ取ることに考えを致すより、神でも作れなかった、美しい優しい地球人間社会を、と、夢見る老いた選手ですが、家事一般、老妻の看病に追われながら 87 歳になっても、トレーニングに励んでいるのが現実です。

何兆分の一の確率でこの世に生を受けた喜びを享受しつつ、もう一歩サクセスフル・エイジングに向けて。